



世界と日本、そして山口の課題

世界経済フォーラムが発表した2022年の世界ジェンダーギャップ指数のランキングで、日本は146か国中116位でした。（注1）これは国会議員や閣僚に占める女性の比率が非常に低いこと、また民間企業の経営者、役員など重要な意思決定に参画している女性の割合が低い状況を反映しています。

山口県においても、市町の議会における女性議員数は、市が12.3%、町が18.8%、あわせて13.4%という状況です。（2022年10月1日現在、注2）また、県議会議員47名中、女性議員数は7名で全体の14.9%となっています。（2022年9月20日現在、注3）さらに、女性の市長は県内で1名です。

1	アイスランド	15	フランス	103	マレーシア
2	フィンランド	19	フィリピン	110	スリランカ
3	ノルウエー	25	カナダ	116	日本
4	ニュージーランド	27	米国	122	ヨルダン
5	スウェーデン	49	シンガポール	124	トルコ
6	ルワンダ	53	ラオス	126	ブータン
7	ニカラグア	71	バングラデシュ	127	サウジアラビア
8	ナミビア	79	タイ	129	エジプト
9	アイルランド	83	ベトナム	135	インド
10	ドイツ	92	インドネシア	140	アルジェリア
11	リトアニア	96	ネパール	143	イラン
12	コスタリカ	98	カンボジア	144	コンゴ民主共和国
13	スイス	99	韓国	145	パキスタン
14	ベルギー	102	中国	146	アフガニスタン

大学の貢献

国立大学では全国初、「えるぼし」認定を取得

山口大学は、2022年5月18日付けで、女性活躍推進法に基づく優良認定「えるぼし」を取得しました。「えるぼし」認定は、女性の活躍に関する取組の実施状況が優良な企業について、女性活躍推進法に基づいて厚生労働大臣が認定する制度で、全国の国立大学で初の取得となります。

具体的には、「採用」「継続就業」「労働時間等の働き方」「管理職比率」「多様なキャリアアコース」の5つの基準で評価され、基準を満たした項目数に応じて3段階で認定されます。本学はこの5項目のうち、3項目の基準を満たしていると評価され、全3つ星（3段階）中の2つ星（2段階目）を取得しました。

本学では、ダイバーシティを活力の源泉とみなし、学生や教職員の性別、民族や年齢などについて、多様性を尊重し、さらに、各自の個性と能力を安心して発揮できるような教育環境や労働環境の整備と充実に取り組んでおり、ワークライフバランスの促進や女性研究者及び女性管理職の割合の増加等を目指した様々な事業を展開しています。

今回の「えるぼし」認定を受け、さらなる環境の整備に取り組むとともに、多様な人材が活躍できるキャンパスの実現に向けて一層取り組んでまいります。



女性研究者の活躍を加速させるために



山口大学は、2020年度に文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）」に採択され、「やまぐちダイバーシティ推進加速コンソーシアム」を8機関でスタートさせました。2022年度は18機関まで拡大し、連携協力を行いながら、取組を行っています。

「地域におけるダイバーシティ推進の気運を高め、女性研究者の活躍を加速させる仕組みを構築する」ことを目指し、女性管理職候補者の方を対象とした女性管理職ネットワーク「働く『わたし』を考える」や、研究者の裾野拡大を図るためのオンライン座談会「研究者の未来が面白い!」、新たな研究活動の展開や異分野融合研究チームの形成を目指した「AI×研究データマッチングイベント」を開催するなどの取組を行いました。

2023年3月8日、実施してきた取組を振り返り、さらにその先の取組をより良いものとするを目的として、中間成果報告シンポジウム「ダイバーシティ研究環境の実現にむけて」を開催しました。

注1：World Ranking of Global Gender Gap Index (GGGI), 2022

World Economic Forum <https://www.weforum.org/reports/global-gender-gap-report-2022/>を参照し作成

注2：山口県、議員定数・山口県市町議会の議員定数等について

<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/31/14956.html>

注3：山口県、議員名簿

<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/site/gikai/25262.html>